

(生物多様性保全検討部会報告)

## 生物多様性保全検討部会における審議状況について

諮問事項「次期『京都市生物多様性プラン』の策定について」の審議を行うため、前回の環境審議会（令和2年1月21日開催）以降、生物多様性保全検討部会を2回開催した。

### 1 令和元年度第3回生物多様性保全検討部会

#### (1) 日時・場所，出席者

日 時	令和2年1月31日（金）午前9時30分～12時
場 所	京都市役所分庁舎4階 第1会議室
委 員	出席：湯本部長，足立委員，石原委員，板倉委員，落合委員，田中委員，久山委員，伏見委員，森本委員

#### (2) 議題

- 次期プランの策定スケジュールについて
- プラン体系について
- 施策体系と評価方法について
- 各主体の役割について
- リーディング事業について

#### (3) 主な御意見

- 体系については、生物多様性の「保全」ではなく「利用」からアプローチとすることで、生物多様性の問題を「みんなごと」にできるのではないかと。
- 「外来種対策」や「生物多様性に配慮したライフスタイルの転換」にも言及すべきではないかと。
- 「意識の変革と担い手づくり」とあるが、意識変革だけで社会を変えることができるように読める。意識だけでなく、社会の仕組みづくりが重要である。
- 「2030年度までの目標」を具体的に明示すべき。
- 施策について、「市民に求めること」と「行政がすべきこと」を分けて記載してはどうか。
- 各主体の役割は「責務」と「努力目標」で分けて記載すべき。
- 行政の役割として、主体間の連携に加え、「制度の整備」がある。
- リーディング事業がどの目標や施策に寄与するのかを明確にすべき。
- リーディング事業の目的を明確にする必要がある。

## 2 令和2年度第1回生物多様性保全検討部会

### (1) 日時・場所、出席者

日 時	令和2年7月1日（水）午後2時～4時
場 所	京都市役所分庁舎4階 第4会議室
委 員	出席：湯本部会長，足立委員，池本委員，石原委員，板倉委員，田中委員，久山委員，伏見委員，森本委員

### (2) 議題

- 次期プランの策定スケジュール
- 次期プランの骨子（案）について
- 次期プランにおける施策について

### (3) 主な御意見

- 骨子について，バランスの取れたものになっている。
- 次期プランでは，「ポストコロナ」の視点が必要である。欧州では，ポストコロナにおいて，気候変動対策や生物多様性保全に配慮したより良い社会を構築するという「グリーンリカバリー」の考え方が広がっており，次期プランにおいて参考になるのではないか。
- EUでは「自然を元気にすることは，フィジカルとメンタルの幸福につながる」という考えが示されており，次期プランでも「健康」の視点があると良い。
- 生物多様性に配慮した農業の視点がまだ足りないと感じる。
- 農地が果たす生物多様性上の役割は非常に大きい。
- 重点保全地域や希少種について，情報収集のためのネットワークや情報共有のためのしくみづくりが重要である。
- 目標3（ライフスタイルの転換）では，「エシカル消費」を主たる施策として進めていくべき。
- 目標4（社会変革のための仕組み）では，生物多様性保全の「担い手」，「資金」，「情報」に関するしくみづくりの施策を位置づけるべき。

## 3 今後の進め方と検討事項（予定）

日 程	会議名称	議題
令和2年度 9月	第2回 部会	○計画素案について
10月	第3回 部会	○答申案について
	第2回 環境審議会	○答申